

勇気と感動をありがとう ボクシングWBCバンタム級

☎秘書広報課(東庁舎) ☎71・2300 ☎72・1467

湖南省から熱い思いを山中選手へ パブリックビューイングを開催しました

湖南省出身の王者山中慎介選手を応援するため、下田学区まちづくり協議会、水戸学区まちづくり協議会などが中心となり、サンヒルズ甲西でパブリックビューイングを開催しました。特設大画面で試合の様子を同時放映すると、300人を超える来場者は、赤いおそろいのスティックバルーンを手に山中選手にエールを送りました。



▲熱気に包まれる会場

山中選手のこれまでの軌跡が放映されると会場は熱気に包まれ、試合前からヒートアップしました。試合は残念な結果となりましたが、皆さんの熱い思いは山中選手へと伝わったはずです。

試合後、観戦していた市内在住の30歳代の男性は「今回の対戦相手にランキング1位と強い相手を選んだ山中選手の心意気がすごいと思います。ただただ残念です。」と無念そうに話していました。



▲多くのボランティアスタッフが会場を盛り上げました



山中慎介選手 13度目の防衛戦に臨む

8月15日、島津アリーナ京都でWBCバンタム級タイトルマッチが行われました。湖南省出身の王者山中慎介選手は同級1位ルイス・ネリ選手(メキシコ)に4RTKOで敗れ、残念ながら具志堅用高さんが持つ連続防衛13回の日本記録に並ぶことはできませんでした。

山中選手は、試合序盤から積極的に攻める挑戦者に対し、冷静に対応していましたが、4Rで連打を浴び、セコンドのタオル投入によりまさかのTKOとなりました。



▲挑戦者を攻める山中選手

しかし、これだけの記録を打ち立て、現在まで戦ってきた山中選手の功績は大きく、私たち湖南市民にとって、大きな誇りです。

山中慎介選手 勇気と感動をありがとう!

※8月24日の報道で、対戦相手のルイス・ネリ選手の薬物疑惑が浮上しました。今後、WBCとJBCによる判断が行われます。



山中選手の これまでの防衛記録

- 平成23年11月6日
WBC世界バンタム級
王座決定戦
第29代王座 クリス
チャン・エスキベル
11RTKO 王座獲得
- 平成24年4月6日
ビック・ダルチニャン
12R判定 V1
- 平成24年11月3日
トマス・ロハス
7RTKO V2
- 平成25年4月8日
マルコム・ツニヤカオ
12RTKO V3
- 平成25年8月12日
ホセ・ニエベス
1RTKO V4
- 平成25年11月10日
アルベルト・ゲバラ
9RTKO V5
- 平成26年4月23日
シユアファアーヌジャモエ
9RTKO V6
- 平成26年10月22日
スリヤン・ソールンピサイ
12R判定 V7
- 平成27年4月16日
デイエゴ・サンティリアン
7RTKO V8
- 平成27年9月22日
アンセルモ・モレノ
12R判定 V9
- 平成28年3月4日
リポリオ・ソリス
12R判定 V10
- 平成28年9月16日
アンセルモ・モレノ
7RTKO V11
- 平成29年3月2日
カルロス・カールソン
7RTKO V12